

令和3年度 第1回 大衡村総合教育会議 議事録

日時：令和3年12月24日（金）

午後3時00分から午後4時20分

場所：大衡村役場 2階 会議室

○出席者：大衡村長 萩原達雄，教育長 齋藤浩

教育長職務代行者 渡邊勇，教育委員 文屋栄悦，教育委員 齋藤さと子

教育委員 佐竹由加 学校教育課長 森田祐美子，学校教育課参事兼指導主事

岩淵克洋，学校教育課課長補佐 布施智宏，社会教育課長 大沼善昭，社会教

育課課長補佐 浅野めぐみ，総務課長 佐野克彦，主事 澁谷優奈（書記）

1. 開会（進行：総務課長 佐野克彦）

開会時刻：午後3時00分

2. 挨拶（大衡村長 萩原達雄）

〔省略〕

3. 協議…大衡村総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定により村長が議長となり進行する。

（1）「教育振興に関する施策の大綱」の策定（見直し）について

（2）令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

<萩原村長>早速、協議に入ります。協議の（1）「教育振興に関する施策の大綱」の策定（見直し）について、（2）令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について説明をお願いします。

<森田課長>（資料1・2・3に基づいて、説明）

<岩淵参事>（資料4・5に基づいて、説明）

<萩原村長>ここまでについて皆さんから何かご質問ありますか。

<萩原村長>今、岩淵参事から説明があったが、学力が全国平均からは落ちているのは分かったが、その反面いいところがあるのも分かった。決定的な問題は家庭で

の学習で、中学生は計画的に勉強をしているが時間が短いという点が問題になっているのだろうか。

<渡邊職務代行>配布しているタブレットはまだ家庭に持って帰ることはできないのか。

<齋藤教育長>まだです。

<渡邊職務代行>タブレットを使用して先生たちが宿題を出せるようになれば勉強も進むのではないかと聞かれています。仙台市では持って帰れるようになっていると聞かれています。

<齋藤教育長>校長会で話をしたが、タブレットドリルというシステムを導入しており、先生たちは子どもたちがどのくらいドリルで勉強しているのかわかるようになっているが、先生たちがそこまで使いこなせていない。しかし、子どもたちがそれを使用して先生が見ているとわかれば、見られているという意識で進んで取り組むのではないかと聞かれています。

<渡邊職務代行>インターネットを使用して答えを調べる子どももいる。

<萩原村長>協議（１）の「教育振興に関する施策の大綱」の策定（見直し）について新旧対照表の変更後のようにしてほしいでしょうか。

<文屋委員>具体的にどの文言のところというわけではないが、新型コロナウイルス感染症をはじめ、これからまた疫病が出てくるかもしれない。そこで、子どもたちが健康で教育できる環境の充実を図るための教訓を入れておく必要があるのではないかと聞かれています。

<萩原村長>衛生環境の面について、入れた方がいいのではないかと聞かれています。

<齋藤教育長>この施策は、項目だけ決めていただきたいということで、詳しい枝分かれしているものはまた別に作っておりまして、そこに今回の文言を盛り込むことは可能です。

<文屋委員>はい。わかりました。

<佐野課長>「学校教育の充実」の⑥防災教育の充実を「防災及び危機管理教育」という文言を入れてもいいのではないか。コロナ関係の危機管理ということで全て包含する形になるのではないか。若しくは、枝分かれの中に盛り込む形はどうか。

<齋藤教育長>そうですね。いつも年度初めにそういった部分をお示ししているのですその時にお示ししていただければと思います。

<萩原村長>その他に何かございませんか。(なし) それでは、(1)については以上としたいと思います。

<萩原村長>次に(2)について何かございますか。

<齋藤委員>今回の学力学習状況調査の結果を見て一番気になるところは、学力の低い高いいだけではなく、「自分に良いところがあると思いますか」の質問に対して自信をもって当てはまると回答する生徒が少ないといったところで、小学校、中学校に来た子どもたちがこういう状態というところで、家庭学習など親に求められるところが多く、私はどちらかという保護者の立場なので、大衡にある7か条を見たときにあいさつをするとか、人にやさしくするとかとてもいいことが書いているが一番先に家庭でできることって家の手伝いをしてもらうことかなと思っていて、その中で小学生から中学生まで必ず家の手伝いを何か1個でもいいからしてくる。そういう徹底したことをしていくと親との関係で、小さな事でも自分は求められているな等、感じる事ができ、そういうところの積み重ねで自分に自信を持って育っていく子どもが増えるのではないかと。そこから勉強につなげるのは難しいこととは思いますが、そういうことは親ができるのではないかと。今までも、先生方はそういう指導をしてくれていたとは思いますが、受け止める親の意識が芽生えていけば良いのかなと思う。

<齋藤教育長>そういったことは、学校を通してうまく仕掛けをすれば可能だと思う。

<萩原村長>ご意見があったことはぜひ今後反映していただければと思う。

(3) 大衡塾の状況について

<萩原村長>それでは次に(3)の説明をお願いします。

<岩淵参事> (資料6に基づいて, 説明)

<萩原村長> 初めて大衡塾を導入したが、結果はすぐ出てこないと思うが、変化等感じられることはあるか。

<岩淵参事> 村長がおっしゃるとおり数値的なものが出てくるのはまだ先になると思うが、取り組む様子を見てみますと、真剣度は高まってきていると思う。一斉に授業をしているため、どうしても難易度の部分で設定が難しいというのが感じる所であり、公営塾としての課題と考えている。

<萩原村長> 塾に通っている子とそうじゃない子で軋轢はあるのか。

<岩淵参事> そういったことはない。

<渡邊職務代行> 将来的に基本を学ぶ子、応用を学ぶ子とクラス分けをするのはどうか。

<萩原村長> 以前学校でそういう授業をしていたのではないか。現在もしているのか。

<齋藤教育長> 少人数数学級はあり、数学などわからない子たちを教えているものは現在もある。校長会では、授業は全員がわかるように行っているため、勉強ができる子たちになかなか手をかけられない。その部分を ICT を活用して学力を伸ばしていくことができるのではないかと提案はしている。

<渡邊職務代行> 講師の先生は1クラスに1人いるのか。

<岩淵参事> 土曜日については3人来てもらっており、その時の課題によって2人入ったり、巡回して対応してもらっている。

<渡邊職務代行> 今後課題が出て来るとは思うが、良い方向になっていけばと思う。

(4) 令和3年度社会教育事業等について

<萩原村長> それでは、続いて(4)令和3年度社会教育事業等について説明をお願いします。

<大沼課長> (資料7に基づいて, 説明)

<萩原村長>ジュニアリーダーは5人しかいないのか。

<大沼課長>はい。去年が2名で3名増えた。

<萩原村長>皆さん何か気づいた点、ご意見等ございますか。

<萩原村長>お茶っこ会はどのようなことをするのか。

<大沼課長>簡単に説明しますと、公民館に遊びに来て、お茶を飲んで世間話をして帰るというものになっている。今年はないが、その前の年は漬物やお茶菓子をそれぞれ持って来たり、料理をしたこともあった。

<萩原村長>場所はどこでやっているのか。

<大沼課長>現在は公民館のホールで行っている。

<萩原村長>健康マージャンはどのようなものか。

<大沼課長>賭けない、飲まない、喫わないマージャンで、見やすいように普通のマージャンより大きいものになっている。

<佐野課長>頭の体操みたいなものですね。

<大沼課長>はい。

<渡邊職務代行>人数を制限して事業を行ってはどうか。例えば、歩け走ろう大会はスタート順番を分け行うとか工夫をして行うのはどうか。楽しみにしている人はいっぱいいると思う。

<萩原村長>最後に豚汁など食べるときにどうしても密になってしまうから中止にしたんですよね。

<大沼課長>はい、そうです。

<萩原村長>ソフトテニス教室は何名来たのか。

<大沼課長> 27名来ました。

<萩原村長> 多目的施設の図書館の利用者層として一番多いのは大人の方ですか。

<大沼課長> いえ、一番多いのは小・中学生です。

<萩原村長> 大人はどういった方が利用しているのか。

<大沼課長> 60歳過ぎた方が平日に来て利用している。

<萩原村長> ほかに何かございませんか。(なし)

<佐野課長> 以上をもちまして令和3年度第1回大衡村総合教育会議を終了とさせていただきます。大変お疲れ様でした。

4. 閉会

閉会時刻：午後4時20分

本議事録は事務局書記が記載したものであるが、その内容に相違ないことを証明するためここに署名する。

令和3年12月24日

大衡村総合教育会議出席者

大衡村長

萩原達雄

教育長

齋藤 浩

教育長職務代行者

渡邊 勇

教育委員

文屋 栄悦

教育委員

齋藤 さと子

教育委員

佐竹 由加